

令和3年度

就労移行支援

法人名称	<a href="#">社会福祉法人げんき</a>
事業所名称	<a href="#">げんき品川</a>
事業所所在地	東京都品川区大崎4丁目11番12号
事業所電話番号	03-5496-2536

## 事業者の理念・方針

理念・方針	
事業者が大切にしている考え（事業者の理念・ビジョン・使命など）	<ol style="list-style-type: none"><li>1)地域社会のすべての人とともに歩む</li><li>2)すべての人がその人らしく生きていくことができるよう、それぞれの違いを認め合い、お互いに尊重し合える社会を育てていく</li><li>3)地域社会における障害のある人への理解を深め、ともに暮らし、ともに生きる社会の実現を目指す</li><li>4)障害のある人の内なる力を信じ、その人の強みに目を向けた支援を目指す</li><li>5)障害のある人がその人らしく安心して働ける地域社会をつくる</li></ol>

## 全体の評価講評

### 💡特に良いと思う点

- **コロナ禍の状況を活かし、時間を有効活用して写真や図を用いたわかりやすいマニュアル作成に努めた**

昨年度には利用者作業マニュアルと職員作業マニュアルの改訂を実施した。就労プログラムで実施する内容について、図や写真を用いて必要物品の場所や使用内容について明確にし、支援のポイントを掲載して明示している。具体的な内容を記載することで、利用者自身もマニュアルを見ながら作業し、自立して活動できる支援に繋がっている。業務について、利用者だけでなく、新入職員に対しても活用でき、業務標準化に繋がっている。常に確認できるよう、事業所の目に付く箇所に設置して共有している。

- **実際の職場を想定した職員手作りの就労支援プログラムを多数用意して、一般就労に向けた支援をしている**

事業所では就労に繋げる訓練として、就労プログラムを25講座、就職に関するプログラムを6講座用意している。プログラムは職員が考案した手作りのものであり、実際の就労時に使うであろうマナーなどの方法について学ぶことができる。また、事業所を会社に見立てた模擬プログラムを実施し、就労後に役立つよう報告・連絡・相談等の力を身につけることを目指して支援している。

- **年1回の利用者アンケートや意見箱を活用し、利用者ニーズを把握して、事業内容にいかしている**

利用者のニーズを定期的に把握するため、事業所は、年度末に利用者アンケートを実施しており、その結果を集計し、利用者集会で発表している。また、事業所には意見箱が設置され、利用者はその都度気付いた時に意見を記入し投函できるようになっている。これらの利用者からの意見は、利用者集会で検討することや、個別に解決が必要な場合は面談を行う等の解決を図っている。昨今ではコロナ禍によるテレワークやパソコンの需要が増えたことで、利用者からプログラムに加えてほしい意向が多く聞き取られ、新たに実施がなされている。

## ✓さらなる改善が望まれる点

- **長期的なキャリアパスを職員に提示していくことで、より将来の展望を見据えた人材育成に期待したい**

職員のキャリアパスは法人で作成し、年度の研修計画に反映がなされている。対象の職員のキャリアや取得している資格に応じて、研修計画は立てられている。また、年2回の職員面談を通して、それぞれの職員の課題や達成度合いを確認し、次年度に繋げている。職員の長期的なキャリアパスに関しては、法人の方針に伴い作成しているが、職員一人ひとりへの周知がなされていないように見受けられる。例えば、一定期間を設け、必要となるスキルの水準等、職員に具体的に提示して、周知を図ることが望まれる。

- **個別の支援計画や利用者状況の情報等、職員間で情報共有がしやすいよう、記録全般の整備を図ることに期待したい**

事業所では記録支援システムの導入により、在宅ワークにも対応できるよう備えている。また、増え続ける利用者の個人記録に対応できるよう、電子化を進めている。しかし、利用者情報については紙媒体のものと併用しながら記録しており、同じ情報を複数個所に入力している状況がある。現在、事業所は利用者ごとの個人ファイルについて、フェイスシートを最初に綴るなど、活用しやすい綴り方や方法を検討している。今後は、どの職員が確認しても情報がすぐわかるよう記録全般の整備を図ることに期待したい。

- **アフターコロナに向けて、これまで取り組んできた活動を含めた地域貢献のさらなる充実を図っていくことを期待したい**

この2年間はコロナ禍により、これまで取り組んできた活動を含めた地域貢献が十分にできていない状況となっている。事業所としては、区内で唯一の社会福祉法人が運営する就労移行支援事業所として品川区との連携を深め、地元とのつながりを大切にしてきた経緯から、アフターコロナには地域貢献の取り組みをさらに充実していきたいと考えている。具体的にはボランティア受入の再開や町会との協働、地域での防災訓練、近隣大学との連携などが挙げられる。理念に掲げている「地域社会のすべての人とともに歩む」の実現へ向けた取り組みに期待したい。

## 事業者が特に力を入れている取り組み

### ★ 職員が虐待防止と権利擁護意識を高める取り組みを毎日行っている

法人の虐待防止委員会を通じて事業所では、虐待防止と権利擁護に関する標語を作成する独自の取り組みを行っている。標語は日めくりの形で事務所内に掲示され、朝礼や終礼の際にそれぞれの標語を1つずつ毎日唱和している。これにより、職員の権利擁護や虐待に関する意識が高く維持されていることが、職員自己評価の結果にも反映されている。その他にも職員の倫理綱領や行動規範は名札に入れられる携帯版を作成し、確認出来るよう工夫したことも意識向上に繋がっている。

### ★ 働きやすい職場を目指した取り組みを継続することで職員の定着率が向上している

職員の働き方について、「東京都働きやすい福祉の職場宣言事業所」のガイドラインに沿って整備を行ってきた。これにより職員全体で働きやすい職場の考えや職員間のコミュニケーションが改善されている。また、取り組みを進めたことで女性職員の働き方やキャリアアップの仕組み等の整備が行われ、東京都女性活躍推進大賞の特別賞を受賞している。具体的には意見が言える職場作りとして日々の振り返りの機会を設ける事や、休みを取得しやすい環境とするため休暇の取得状況を定期的に確認している。その結果、職員の定着率の向上につながっている。

### ★ 利用者から要望のあった昼食提供再開により、就労前の負担軽減に取り組んでいる

利用者調査により要望のあった、昼食提供の再開に向けて昨年度より模索してきた。事業所では、就労前の利用者の経済的な負担軽減にも繋がると考え、法人に掛け合っただけで昼食代金補助規定を策定し、半額補助を実現させることができた。昼食の提供再開により、就労移行支援事業所の継続利用を可能とし、利用者からも喜びの声が挙がっている。事業所としては収支面での課題からチャレンジングな取り組みとなっているが、利用者の要望を受け入れ、障がいがあっても早期に就労に結び付けるため、様々な支援を行っていきたいと考えている。

# 利用者調査結果

## 調査概要

- **調査対象**：全利用者を対象とした。
- **調査方法**：アンケート方式  
事業所よりアンケート用紙を配布してもらい、記入後返信用封筒で直接評価機関へ郵送する方法をとった。なお、郵送による調査については、一部家族の協力を得て行った。
- 利用者総数： 11人
- 共通評価項目による調査対象者数： 11人
- 共通評価項目による調査の有効回答者数： 9人
- 利用者総数に対する回答者割合（%）： 81.8%
- 調査項目：[共通評価項目](#)

有効回答者数/利用者総数  
9/11

4～17は選択式の質問のため、該当項目のみ掲載しています。

1. 利用者は困ったときに支援を受けているか	はい 89%		どちらともいえない 11%	
2. 事業所の設備は安心して使えるか	はい 89%		どちらともいえない 11%	
3. 利用者同士の交流など、仲間との関わりは楽しいか	はい 44%	どちらともいえない 44%		いいえ 11%
11. 【就労移行支援】 事業所での活動が就労に向けた知識の習得や能力の向上に役立っているか	はい 78%		どちらともいえない 22%	
12. 【就労移行支援】 職場見学・職場実習等の、事業所外での体験は充実しているか	はい 11%	どちらともいえない 22%	いいえ 11%	無回答・非該当 56%
13. 【就労移行支援】 工賃等の支払いのしくみは、わかりやすく説明されているか	はい 22%	どちらともいえない 33%	いいえ 11%	無回答・非該当 33%
18. 事業所内の清掃、整理整頓は行き届いているか	はい 89%		いいえ 11%	

19. 職員の接遇・態度は適切か	はい 89%	どちらともいえない 11%	
20. 病気やけがをした際の職員の対応は信頼できるか	はい 89%	どちらともいえない 11%	
21. 利用者同士のトラブルに関する対応は信頼できるか	はい 67%	いいえ 11%	無回答・非該当 22%
22. 利用者の気持ちを尊重した対応がされているか	はい 89%	どちらともいえない 11%	
23. 利用者のプライバシーは守られているか	はい 78%	どちらともいえない 22%	
24. 個別の計画作成時に、利用者の状況や要望を聞かれているか	はい 89%	どちらともいえない 11%	
25. サービス内容や計画に関する職員の説明はわかりやすいか	はい 78%	どちらともいえない 11%	無回答・非該当 11%
26. 利用者の不満や要望は対応されているか	はい 78%	いいえ 11%	無回答・非該当 11%
27. 外部の苦情窓口（行政や第三者委員等）にも相談できることを伝えられているか	はい 44%	どちらともいえない 33%	無回答・非該当 22%